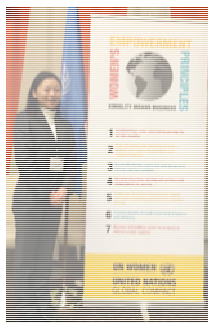


男女共同参画推進連携会議
「国際的に連携した女性のエンパワメント促進」チーム
2015年3月30日

国連女性のエンパワメント原則 (WEPs) 第7回年次会合 参加報告



グローバル・コンパクト研究センター研究員
立命館大学教授
大西 祥世

1

報告の内容

- 1 WEPs年次会合参加報告
 - － 会合および関連会合の概要
 - － 「ステークホルダー声明」の採択 【資料1】
- 2 WEPsに関する最近の動き
 - － 国連グローバル・コンパクトの、進捗状況報告書提出の際の、ジェンダーに関する質問項目への回答(任意)の導入 【資料2】
- 3 グローバル・コンパクト研究センター活動報告
 - － 第1回研究会の開催(2014年12月@大阪市) 【資料3】
 - － 第2回研究会の準備(2015年6月@文京区) 【資料4】

2

第7回年次会合の特色

- 副題:無限の可能性—ジェンダー平等への
ビジネス・パートナー
 - サプライチェーン、政府、自治体、市民社会等の
ステークホルダーの役割および協働の重視
 - 国連持続可能な開発目標(SDGs)との関連性
 - 「ステークホルダー声明」の採択
- (紙上の)「原則」から「実行」へ
 - 投資の重要性
 - 好事例の共有
 - 進捗状況の自己評価(COP質問項目)の奨励
- テクノロジーの発展の成果の、女性のエンパワメント促進への活用

3

概要

- 日時:2015年3月10日(火)~11日(水)
- 場所:国連本部経済社会理事会
会議場等
 - 第1日目:第59回国連女性の地位
委員会(CSW)「北京+20」のサイド
イベントに位置づけられた
- 参加者:約350人(招待者に限定)
 - 国連機関:パン・ギムン国連事務総長、プムズィ
レ・ムランボ=ヌクカUN Women事務局長、ゲオ
ルグ・ケルUNGC事務局長、
メアリー・ロビンソン国連気候変動
特別大使 等



4

- ヒラリー・ロッドム・クリントン前米国務長官
- 民間企業CEOおよび役員
- マヌエラ・シュヴェーズィヒ独家族高齢者女性若者大臣、ゾラナ・ミハイロビッチセルビア副総理兼建設交通インフラ大臣等、各国政府
- 国際NGO、研究機関、市民社会
- 日本からの参加者
 - 宇都隆史外務大臣政務官(レセプション)、橋本ヒロ子第59回CSW日本代表、吉川元偉国連代表部大使(レセプション)、大西 等

5

基調講演

- パン国連事務総長
 - 企業が男女格差の解消や女性のエンパワメントに取り組んでいることへの評価
 - ビジネスの強い関与への期待
 - SDGsへの取り込み
- クリントン前米国務長官
 - 「女性の権利は人権である、人権は女性の権利である」の再確認と、1995年国連世界女性会議以降20年間における進展
 - 企業の果たす役割の重要性



6

- シュヴェーズィヒ独家族高齢者女性若者大臣
 - 民間企業の非常勤取締役女性30%の法制化へ
 - WEPsは政府にも重要

- エリザベス・ブロデリック

豪人権委員会性差別コミッショナー



- 「変革のための男性チャンピオン」の創設と展開
 - 企業における女性のエンパワメントを推進するには、トップにいる男性のリーダーシップがカギ
 - 職場におけるジェンダー平等法に基づく各企業の取組の公表義務との連携
 - プラットフォームとしての役割

7

パネル・ディスカッションにおける 主な議論

- テクノロジーの活用による女性のエンパワメントの促進
 - ITCスキルの教育・研修による、人材としての能力育成や、起業家の質と量の拡充
- 女性の起業家とのビジネスの拡充
 - サプライチェーンへの巻き込み(とくに、小売業、飲食業における、女性の農業者・生産者)
 - 女性起業家と企業との橋渡しに、第三者として経済・産業団体や女性団体が加わって支援することの意義
 - 融資の拡充

8

- 女性社員へのリプロダクティブ・ヘルスおよび女性に対する暴力撤廃への支援
- 地域女性への教育とビジネスの持続可能性との関連性
 - 企業と政府・市民団体と連携した、地域への投資の促進
 - ITC、理数系分野における大学等と連携したリケジョの養成
- 男女の格差の解消
 - 賃金格差
- トップのリーダーシップへの再注目

9

分科会のテーマ

- 職場におけるWEPs諸原則の実践
- 市場およびバリューチェーンにおけるWEPs諸原則の実践
- コミュニケーションへの関与と進捗ージェンダー平等報告書
- 「無意識のバイアス」への闘い



10

WEPS大賞授賞式



- 変化を実現した評価指標賞
 - オムニライフ社(メキシコ)
- 行動を実現したビジネス事例賞
 - シュナイダー・エレクトリック社(フランス)
- 地域参画賞
 - ソベレン保険会社(ニュージーランド)
- エンパワメントを実現した企業文化変革賞
 - デロイトカナダ社(カナダ)
- 7原則総合賞
 - オーストリア放送協会(オーストリア)

11

授賞の理由

- オムニライフ社(メキシコ)
 - 指標と方法を明示した行動計画を実行し、2007年から2013年までに女性の新規採用が17%増加
- シュナイダー・エレクトリック社(フランス)
 - ダイバーシティの実践例を世界10社以上の支社や現地法人のCEOと共有し、世界中で実現へ
- ソベレン保険会社(ニュージーランド)
 - 貧困問題への取組から、アフリカやアジアの女性のリーダーシップを醸成
- デロイトカナダ社(カナダ)
 - 企業文化の変革のための、ダイバーシティ&インクルージョンプログラムを強化・改定
- オーストリア放送協会(オーストリア)
 - パパ・キャンペーンによる固定的な性別役割分担意識の改革
 - すべての番組や報道で、ジェンダー・バランスに敏感に

12

ステークホルダー声明の採択

https://www.unglobalcompact.org/docs/issues_doc/human_rights/WEPs/2015/2015WEPs_BusinessStatement.pdf

- ビジネス、政府、市民社会のリーダーが、女性のエンパワメントおよび持続可能な開発をスケールアップすることを目指す
- 北京＋20
 - 北京会議行動綱領は政府の行動を求めたもので、ビジネスの役割は盛り込まれていなかった
 - 「北京＋20」以降は、ビジネスにおいて、企業が、政府、自治体、市民社会と連携・協働して女性のエンパワメントを推進することが、持続可能な開発に不可欠

13

- 10項目の概要
 - 女性に対する暴力撤廃への関与
 - 政府による性差別の撤廃および女性の健康・教育・起業への投資による、女性の経済的なエンパワメントおよび女性への利益の解放
 - 好事例をリードして変化の役割を担う、男性の奨励および支援
 - ビジネス、政府、市民社会におけるジェンダー平等政策およびプログラム策定への、工程表としてのWEPsの活用

14

第4回WEPsリーダーシップグループ (LG) 会合

- WEPsLGとは
 - 2011年に設置
 - WEPsを推進する核となる世界中の企業のCEOおよび役員、NGO、研究機関、国連機関等28人のメンバーで構成
 - 共同議長
 - エリザベス・ブロデリック氏(オーストラリア人権委員会性差別コミッショナー)、ジョセフ・キーフ氏(パックス・ワールド・ファンド社CEO)
 - 日本からのメンバー: 岩田喜美枝氏
 - 大西はゲストメンバーとして2012年より参加

15

- 日時: 2015年3月10日(火) 9:30～12:30
- 場所: 独国連代表部大使館会議室
- テーマ:
 - 2014年度のLGおよびLGメンバーの活動報告
 - 署名企業数の増加: この1年間に230社増えて、57か国・約910社に
 - 大西より、グローバル・コンパクト研究センターが実施した公開研究会等について報告



16

- 年次会合において採択するステークホルダー声明(案)の了承
- 2015年度の活動戦略
 - 戦略的なWEPs推進活動の拡大(例: 各国のグローバル・コンパクト・ローカル・ネットワークによる研修モデルの開発、SNSの活用、ステークホルダーとの連携)
 - WEPsを実施するための支援と促進(例: 自己評価ツールの活用および業種に沿ったガイダンスの運用)
 - 企業の持続可能性の課題としての、ジェンダー平等の主流化
 - SDGsへの貢献
 - 説明責任と透明性の促進
 - 財政的な持続可能性 等

17

関連イベント

- 証券取引所における開始ベル・イベントの開催(世界7か所)
 - ボンベイ、イスタンブール、カイロ、ナスダック(米国)、ナイジェリア、ストックホルム、ワルシャワ
- CSWにおけるサイドイベント「障壁を壊そう: 女性、ビジネス、法の支配」の開催
 - 女性のエンパワメントの具体的な実現には、企業の取組およびそれへの法的支援とともに、民法、労働法、家族法など諸法律の整備も重要



18

まとめ・感想

- 企業がビジネスにおけるジェンダー平等と女性のエンパワメントを推進しようという熱気と熱意を直接に感じとることができた。
- 2015年が「北京＋20」の記念年およびSDGsの策定年であることが強く意識され、女性のエンパワメント推進に企業が大きな役割を果たしうることと、それは企業が政府、自治体、市民社会等ステークホルダーと連携して行うことにより実現できることが、繰り返し強調された。

19

- 好事例の共有が、WEPS署名企業の増加および企業による具体的な実施に不可欠であることが共有された。
- テクノロジーが、企業のビジネスの発展、女性の技術向上による収入や地位の向上、ITCそのものの発展、地域社会の発展等をもたらして、女性の経済的エンパワメントに大きく貢献する可能性が、さまざまな事例報告や議論において指摘された。
- 変革者としての男性の役割やリーダーシップの重要性が強調された。

20

WEPsに関する最近の動き (世界、国連)

- 署名企業数: 923社(2015年3月20日現在)
(内訳: 多い順) 日本210社、スペイン97社、セルビア74社、
ブラジル61社、南アフリカ47社、トルコ46社、インド37社、
フランス36社、ニュージーランド25社、アメリカ24社、
オーストラリア23社 等
 - GCLN、UN Women国内委員会、BPWが、政府や
市民社会と連携して、プラットフォームを提供して
いる国では、企業数の伸びが多い傾向
- 「ジェンダーに関するCOP自己評価のための
質問項目」の運用
 - 2014年10月1日より運用開始

21

ジェンダーに関するCOP自己評価のため の質問項目

- 方法
 - UNGCのウェブサイトログインし、進捗状況報告書
(COP)を提出する。
 - 提出後に、「ジェンダーに関する質問」として4つの
質問が表示されるので、該当すればチェックボック
スにチェックを入れたり、自由記述欄に記入したりし
て回答し、提出する。
- 導入のねらい
 - UNGC、WEPsの双方への参加の奨励
 - 報告書(COP)へのジェンダーの視点の導入の奨励
 - WEPs参加企業への、進捗を図り、報告することの
奨励(原則7)

22

グローバル・コンパクト研究センターの活動

• 第1回公開研究会の開催

- 日時:2014年12月12日 於:大阪
- 共催:大阪ガス株式会社
- ワークショップ



- 「ジェンダーに関するCOP自己評価のための質問項目」
のオンラインによるシュミレーション

http://gc-rc.org/repo/150108/WEPs_Questions_for_COP_Self-Assessment-2_JPN_revised_150106.pdf

– ディスカッション

- 日本企業が活用する際の工夫の余地
 - 他の好事例が評価の参考になる
 - ガイドブック、段階別評価
- グローバル・スタンダードと自社の取組との視点のちがい²³

- 職場における取組の質問は、概ね「○」が付くと思っていると、当てはまらない内容がある
- グローバル・スタンダード(WEPs)では、市場や地域との連携も重要視される
 - 社内だけではなく、社外の取引先、同業者、地域、NGOにおいても女性のエンパワメントを促進する
 - COPやCSR報告書における進捗状況の報告の際は、日本国内の基準とグローバルな基準との「2本立て」ではなく、両方に通じるものを

• 第2回公開研究会の開催予定

- 日時:2015年6月12日(金)14:30～
- 於:文京区シビックセンタースカイホール
- 共催:文京区

- UN Women東京事務所の開設を祝して

女性のエンパワメントへ連携しよう—男女平等推進はビジネスそのものである**2015 年 WEPS 年次会合・ステークホルダー声明****#EqualityMeansBusiness**

〔翻訳：グローバル・コンパクト研究センター〕

声明の背景

次の 10 項目の声明は、「無限の可能性：ジェンダー平等へのビジネス・パートナー」をテーマに 2015 年 3 月 11 日に開催された「女性のエンパワメント原則（WEPS）」年次会合への、企業、政府、市民社会、国連機関から 350 人以上の参加者の賛成により採択された。本声明は、女性のエンパワメント原則事務局ならびに WEPS リーダーシップグループおよび同共同議長により起草され、ビジネス、国連、政府が女性および国連持続可能な開発目標（SDGs）へのエンゲージメントをどのようにスケールアップしうるかの概要を示すものである。

ステークホルダー会合声明

- 1 私たち、「無限の可能性：ジェンダー平等へのビジネス・パートナー」をテーマに 2015 年 3 月 10 日～11 日に米国ニューヨーク市で開催された「女性のエンパワメント原則—平等推進はビジネスそのものである」2015 年年次会合に参加したビジネス・リーダーとステークホルダーは、企業を含むすべてのステークホルダーがジェンダー平等に向けての戦略的なパートナーであることの必要性和機会を認識する。
- 2 ジェンダー平等——基本的な人権の一つであり、それ自体が開発目標である——は、経済およびビジネスのゴールと同様に、一連の持続可能な開発の目標を達成するために不可欠である。私たちは、女性に経済的エンパワメントの利益が解放されるには、ビジネスを含むすべてのアクターの参画、雇用への動機づけ、イノベーション、資本創出および投資が要請されることを認識する。
- 3 私たちは、20 年前に各国政府が合意した北京行動綱領以降の顕著な進捗の結果を歓迎し、しかし、女性や女兒のエンパワメントには依然として多くの障壁が残されており、それは人口の半分以上が持続可能な開発と経済の繁栄への潜在的な貢献を制限されているという懸念を共有する。
- 4 私たちは、1995 年の北京宣言が女性と女兒に平等をもたらすために具体的に列挙された行動を要請したことを想起し、進歩の加速を支援するためにビジネスが果たしうる変革者の役割を認識する。
- 5 2015 年 9 月の国連加盟国による持続可能な開発目標の創設は、民間セクターのエンゲージメントへのパラダイムを変える最良の機会を提供し、民間セクターのジェンダー平等の前進への貢献をスケールアップする。

- 6 私たちの経験は、ジェンダー平等に投資することが、ビジネス、経済、開発にとって有用であることを示している。世界中の 850 社以上の CEO の署名により、国連グローバル・コンパクトと UN Women が共同で作成した「女性のエンパワメント原則 (WEPs)」は、ビジネス向けに、職場、市場、地域においてどのように女性をエンパワーするかについて確立された工程表を提供する。
- 7 私たちは、ジェンダー格差に対処し、来たる持続可能な開発目標を実行する努力を率先し続けることを約束し、7原則を理念から実行に転じ、その到達範囲を広げ、私たちのコレクティブ・アクションの影響を深めるよう、企業社会の他のメンバーに私たちに加わるよう奨励する。
- 8 私たちはまた、すべての政府に対し、国連の 2014 年「北京+20」包括的レビュープロセスが示したジェンダー格差や困難に対処するために具体的な手段をとることを求める。とくに、私たちは、女性の経済的エンパワメントの繁栄および次の方法によりインクルーシブなビジネスの成長を可能にする環境の創設を支援するよう、政府に奨励する；
- ・男性と女性が活躍する領域のレベルを上げる立法に、財政上の措置をとり、
 - ・女性の健康に財政上の措置をとり、
 - ・女性および女兒に対する暴力の根絶への関与を実行し、
 - ・職場における女性差別に対処し、
 - ・公共調達、サプライヤー・ダイバーシティ、インクルーシブな金融および人材養成によることを含む、女性の起業家および女性が経営するビジネスを支援し、
 - ・無償のケアワークの価値を認識し、働く母親および父親を支援するインフラおよび社会サービスに財政上の措置をとり、
 - ・すべての女兒に教育の機会を保障し、テクノロジーなどの女性が少ない領域における女性と女兒の教育機会を支援し、
 - ・リーダーシップおよび政策方針決定過程における、完全で平等な女性の参画を促進および可能にし、
 - ・変化の推進へ役立つ責任をとるよう男性を奨励し、支援する。
- 9 私たちはさらに、政府や市民社会団体に対し、WEPs をどのように活用すれば、その方針や実践にジェンダー平等の改善を盛り込めるのか、民間セクターとエンゲージメントや連携するための基準点とすることができるのかについて考慮するよう奨励する。
- 10 ジェンダー平等へのパートナーとして、私たちは、国連女性の地位委員会を含む国際的および地域におけるジェンダー平等に関するフォーラムに積極的に参画し、困難および機会を議論し、好事例および学んだ教訓を共有し、北京行動綱領の実施ならびに持続可能な開発目標の到達および WEPs への関与の認識を私たちが一体化させるパートナーシップを作り上げる機会を歓迎する。

第 1 回「女性のエンパワメントで、企業力と地域力をアップ！」公開研究会

女性活躍促進のグローバル・スタンダード

実施報告書

1 開催日時等

- (1) 日時 2014 年 12 月 12 日（金）15 : 00 から 17 : 30 まで
- (2) 場所 大阪ガス株式会社エネルギー・文化研究所「都市魅力研究室」
大阪市北区大深町 3-1 グランフロント大阪ナレッジキャピタルタワーC 713
- (3) プログラム
 - 15:00-15:05 開会挨拶
 - 15:05-15:25 報告：菅原 絵美 「世界人権デー（12 月 10 日）を記念して—世界における人権 CSR の最新動向」
 - 15:25-15:50 報告：大西 祥世 「『女性のエンパワメント原則（WEPS）』に基づく新しい自己評価・報告のしくみ—企業における女性の活躍促進に関する最新動向」
 - 15:50-16:55 ワークショップ： 自己評価ツールを用いたシミュレーション、意見交換
 - 16:55-17:00 閉会挨拶
 - 17:00-17:30 名刺交換会
- (4) 参加者 40 人（企業や地域における女性の活躍促進に取り組んでいる、または関心のあ
る企業の担当者および自治体の関係者）
- (5) 参加費 無料
- (6) 主催 グローバル・コンパクト研究センター
- (7) 共催 大阪ガス株式会社
- (8) 後援 一般社団法人グローバル・コンパクト・ジャパン・ネットワーク、認定特定非
営利活動法人国連ウィメン日本協会、特定非営利活動法人日本 BPW 連合会、公
益財団法人 21 世紀職業財団、大阪府、大阪市、一般財団法人大阪府男女共同
参画推進財団、一般財団法人大阪市男女共同参画のまち創生協会、大阪商工会
議所

2 概 要

- (1) 冒頭に、主催のグローバル・コンパクト研究センター長の菅原絵美および共催の大阪ガス株式会社人事部ダイバーシティ推進チームマネージャーの田畑真理氏から、挨拶があった。
- (2) 菅原から、世界における人権 CSR の最新動向として、2011 年に国連人権理事会が承認した「ビジネスと人権に関する指導原則」の企業および国へのインパクト、企業における人権 CSR の取り組みを測るワークシート等について報告された。
- (3) グローバル・コンパクト研究センター研究員の大西洋世から、企業における女性の活躍促進に関する日本および世界の法制度、取り組み状況、企業の自主的な実践例、国連の枠組みでグローバル・スタンダードである「国連女性のエンパワメント原則（WEPS）」について

報告された。

- (4) 参加者が4～5人ごとにグループになり、WEPs および国連グローバル・コンパクトに基づく自己評価項目に沿って、ワークショップを実施した。ワークショップでは、同項目に沿って、当センターが設計したアンケート用ウェブサイトを活用して、菅原および大西のガイドに基づき、参加者がそれにアクセスして試行し、最後に全体の集計結果を見ながら意見交換を行った。なお、ウェブサイトへのアクセスが困難な参加者は、ペーパー版により、同様に試行した。
- (5) 名刺交換会では、企業および企業と自治体の担当者同士での意見交換が活発に行われ、今後のネットワークが築かれた。

3 成果

- (1) 後援団体の支援により、女性の活躍促進を担当する企業および自治体の関係者の熱意ある参加をいただき、研究会では活発な質疑応答や意見交換を行うことができた。
- (2) 人権 CSR の最新動向として、国連「ビジネスと人権に関する指導原則」の影響力が諸外国の企業や政府の間で高まっていること、人権への取り組みが企業の経営やマネジメントの課題となり、その中でもジェンダーに関する取り組みの重要性が増していることを共有できた。
- (3) WEPs に参加して活動することで、企業における女性の活躍推進と男女共同参画への取り組みを、地域の自治体や民間団体と協働して具体的に進める重要性が共有できた。
- (4) グローバル・スタンダードで自社の取り組みを自己評価することで、現在の取り組みを積極的に評価したり、不十分である取り組みや視点を発見したりして、今後への課題やヒントを獲得し、共有できた。特に、グローバル・スタンダードと日本の国内法基準の関係、女性の活躍促進に取り組む企業として開示を求められる情報の内容や程度、職場に加えて市場と地域への取り組みの広がり等について気づきがあったとのコメントがあった。
- (5) 他方、グローバル・スタンダードの特性でもあるが、先進国と途上国に共通する基準として作成されているため、日本の企業や自治体になじみのない内容もあり、戸惑いも見受けられ、改善点が明らかになった。

4 まとめ

- (1) 参加者から、今回のテーマであるグローバル・スタンダードは、自己評価ツールとして有益であるので、日本の企業等がさらに使いやすくなるよう、当センターが、プラスに評価できる好事例を具体的に紹介したり、わかりやすい日本語のガイドを作成したりすることへの期待が数多く表明された。
- (2) 国連グローバル・コンパクトや WEPs に参加していない企業や自治体、関連団体からも上記のような高い評価を得ることができた。また、参加者から、WEPs への支持表明を検討したいとの希望もあった。
- (3) 第2回以降の研究会への期待や参加希望が多く、充実した研究会を行うことができた。これからも、企業、自治体、経済団体等の連携・協働による女性の活躍促進の推進に向けて、研究活動を行うとともに、公開研究会等を行いたい。

2015 年 3 月 16 日

女性活躍促進のグローバル・スタンダード

第2回「女性のエンパワメントで、企業力と地域力をアップ！」公開研究会・企画案

企業における女性の活躍促進がますます注目されています。経済環境が厳しい中、これに積極的に取り組んでいる企業も多く、私たちグローバル・コンパクト研究センターは、国際的な基準や原則のしくみを活用した、人権や女性の活躍を促進することで一歩前に出る CSR、企業経営を考える研究活動を行っています。

そこで、自社の女性の活躍促進に関する取り組みを自己評価する際に活用しやすいグローバル・スタンダード（国際的なものさし）について考える研究会を開催します。

今回は、「男女平等の推進はビジネスそのものである」と考え方によって開発された唯一のグローバル・スタンダードである「**国連女性のエンパワメント原則（WEPs）**」についてご紹介します。参加者のみなさんはワークショップで、**WEPs 自己評価ツール（日本語）**を使った自社の取り組み評価を、私たちのガイドのもと試行いただけます。そのプロセスを通して、ツールの改善点を一緒に追求したいと思います。

WEPs は、企業が市場や地域と連携して女性のエンパワメントを進めることをめざしています。この7つの原則に沿って企業が女性活躍の進捗状況を公表することで、次の展望や課題を明らかにしようという機能も備えています。WEPs や**国連グローバル・コンパクト（UNGC）**への参加の有無に関わらず、女性の活躍促進に関心のある企業の皆さん、企業との連携による新しい政策展開を考えたい自治体の皆さんにも、ご参考になる点が多いと思われます。

研究会ではさらに、企業における人権尊重責任に関する最新の国際動向についての最新情報を提供します。また、各地域で熱心に取り組まれている、ダイバーシティ推進の好事例を企業、行政、市民団体と研究者が共有し、経営における女性の活躍促進への取り組みをさらに具体的に進める途を考えたいと思います。

ぜひ、ご参加ください。



開催概要

◎日時 2015 年 6 月 12 日（金）14：30 から 17：00 まで

※ 終了後引き続き、会場にて名刺交換会を行います（17：30 まで）

◎場所 文京区シビックセンター スカイホール

東京都文京区春日 1-16-21 シビックセンター26 階

最寄駅：地下鉄後樂園駅より徒歩 1 分、JR 水道橋駅より徒歩 9 分

地図：<http://www.city.bunkyo.lg.jp/shisetsu/civiccenter/civic.html>

◎プログラム

- 報告：世界における人権 CSR の最新動向
菅原 絵美（グローバル・コンパクト研究センターセンター長、大阪経済法科大学准教授）
- 報告：「女性のエンパワメント原則（WEPs）」年次会合参加報告、
WEPs に基づく企業の自己評価・報告のしくみ
大西 祥世（グローバル・コンパクト研究センター研究員、立命館大学教授）
- ワークショップ：自己評価ツールを用いたシミュレーション、意見交換
※ 終了後、名刺交換会

◎参加者 企業や地域における女性の活躍促進に取り組んでいる、または関心のある企業の担当者および自治体の関係者 等

◎定 員 80 人（先着）

◎参加費 無料

申込み等

女性のエンパワメント原則（WEPs）

原則1	トップのリーダーシップによるジェンダー平等の促進
原則2	機会の均等、インクルージョン、差別の撤廃
原則3	健康、安全、暴力の撤廃
原則4	教育と研修
原則5	事業開発、サプライチェーン、マーケティング活動
原則6	地域におけるリーダーシップと参画
原則7	透明性、成果の測定、報告

（内閣府版訳）

◎申込み・問合せ先 グローバル・コンパクト研究センター（担当：大西）

メール：sachiyo.onishi@gc-rc.org

- ◇ 申込方法：メールにて、①お名前、②ご所属、③連絡先アドレス、④電話番号をご記入の上、お申込みください。
- ◇ 申込締切：2015 年 6 月 8 日（月）まで
- ◇ お持ちいただくもの：Wi-Fi が使える PC やタブレット、スマートフォン

（※お願い）ワークショップのシミュレーションでは、ご自身でお持ちの機器でウェブサイトアクセスして試行していただきますため、当日はご契約の Wi-Fi が使える PC やタブレット、スマートフォンをお持ちください。シミュレーションの項目はペーパー資料でもお配りいたしますが、当方で会場専用の Wi-Fi 回線はご提供できませんので、お含みおきください。

主催 共催 後援

主催 グローバル・コンパクト研究センター

共催 文京区

後援 一般社団法人グローバル・コンパクト・ジャパン・ネットワーク、認定特定非営利活動法人国連ウィメン日本協会、特定非営利活動法人日本 BPW 連合会、公益財団法人 21 世紀職業財団、東京都、中小企業家同友会 等（いずれも交渉中）